

令和6年度利用者意見・対応状況

月	主な意見・対応
4月	<p>・無料にしてはクオリティ高すぎ！終生飼育へのこだわりや映えよりも生き物のことを考えた展示が良いです</p> <p>・無料なのは、とてもありがたいです。床がとても滑りやすいです。直してほしい ⇒ 床が滑りやすく、ご不便をお掛けし申し訳ございませんでした。</p> <p>雨の日は、靴についた雨で館内の床が濡れて滑りやすくなります。雨天時の床清掃を強化し、館内美化に一層努めて参ります。</p> <p>・あたらしい おさかな とってきてほしいな ⇒ 生物展示をお楽しみいただけるよう、展示企画に合わせて生物の購入や職員による採捕も進めて参ります。</p> <p>・無料の施設としては、広さ 内容ともに 大満足です！</p> <p>・カニグッズを増やしてほしい。 ⇒ 売店運営に参考にさせていただきます。</p> <p>・つり堀があったらいいな→やいてたべたいその場で ⇒ 設備等の都合上、釣り堀は難しいですが、いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p> <p>・さかなにさわってみたいそうです(子どもが) ⇒ 週2回の休止日を除き、毎日13:00～15:00に「生き物タッチング」を開催しております。ウニやヒトデのほか、サメにも触ることができますので、ぜひご利用ください。</p> <p>・小さいカニ(コメツキガニ)がもぐって見えないのでアリのカンサツ用ケースみたいに見えるようにしてほしい。 ⇒ 小さなケースで展示すると、ミナミコメツキガニが強いストレスを感じることで、ケースが曇って見にくくなることや、温度・湿度の管理が困難になることからケース展示は行っていません。水槽内で斜面を作り、水(海水)場を作ることで、ミナミコメツキガニが棲む環境を極力再現しています。</p> <p>ミナミコメツキガニは非常に用心深いので砂の中に隠れてしまうことも多く、大変心苦しいですが人気のない静かな日には姿を現したり、水場で餌をついばんでいる様子をご覧いただけますのでご理解いただきますようお願いいたします。</p>

月	主な意見・対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・水族館が近くにないので、とてもいい鑑賞ができました。こんないい所があることを知りました。今後何度も来ようと思います。追伸とてもよく管理されていました。 ・ドクターフィッシュがまたかえってきてうれしかった！！ ・無料でなくて良いと思う1人100円ぐらいとられたら…… ・9:00から来たので、ふれあい、えさやりが出来ず残念でした。9:00からでも実施してほしいです。でも子供達はとっても楽しんでいたので、ありがとうございました。 ⇒ ご希望に添えず申し訳ございませんでした。朝は生物の飼育業務があるため、えさやり体験はスタッフの対応が可能になる10:30からの開始とさせていただきます。ご理解のほどお願いいたします。 ・子供がとてもよろこんでいて、親も楽しめました。 ・ハクセンシオマネキの展示してほしいな～ウェービングが見たい切実に…… ⇒ いただいたご意見は展示の参考にさせていただきます。 ・はじめてきたけど、すごかったのしかった。 ・20年ぶりに来ました 以前とちがって展示内容が充実していてびっくり ・カニの食べくらイベントの開催。 ⇒ いただいたご意見はイベント企画の参考にさせていただきます。 ・病気やキズの魚の理由が説明してありよかった。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はアクオどコラボの報を聞いて、来館しました。いつも展示にこだわっておられるかにつき館さん、コラボのコーナーも充実と工夫が凝らしてあって楽しめました！ありがとうございました！橙々さんや南々海さんと呼んでのトークなどあったら楽しみです。期待！ ⇒ 「アクアリウムは踊らない」とのコラボ企画は、今後も続きますのでご期待ください。ご意見は今後の参考にさせていただきます。 ・エサがあげれてよかったです。 ・前回よりキレイになっていたと感じました 何度もきていますが、来る度に新しい発見があり楽しいです これからも楽しい展示をつづけて下さい ・たくさんグッズがあつてつかいたくなりました。楽しかったです。 ・生き物とのふれあいがなかったのが残念でした 今後ふやしていただけたら、子供たちも集まってたくさんにぎわうと思います。 ⇒ ふれあい水槽で無料開放していたタッチングは、コロナ禍の休止を経て、簡易水槽での有料イベントとして再開しました。飼育作業による休止日を除き13:00～15:00に実施しております。今後はクラウドファンディングでのご支援を元に、タッチングの水槽を新しくする予定です。より充実したタッチングを提供していく予定ですので、ぜひご利用ください。 ・ギンガハゼとテッポウエビの展示をもっと広いスペースで砂の量を増やして、「共生」の状態がよくわかるようにしてもらえたらうれしいです いつ来ても楽しめる水族館で、また来たいです ⇒ 現在の展示ケース内は、サカサクラゲの赤ちゃんが生まれる環境も兼ねているため、環境を変える予定はありませんが、いただいた貴重なご意見は今後の展示の参考にさせていただきます